

絢爛豪華

祝祭音楽劇

作 井上ひさし  
音楽 宮川彬良  
演出 藤田俊太郎

日本演劇界が誇る豪華キャストにより、井上ひさしの傑作戯曲が新たな姿で蘇る—

2025.1.11 sat -13 mon

製作：TOHO



博多座

「リア王」「マクベス」「オセロー」「ハムレット」「リチャード三世」、そして「ロミオとジュリエット」など、発表から約400年以上を経て今も世界中で上演され続け、現代演劇にも絶大な影響を与えているウィリアム・シェイクスピア。その全ての作品を横糸とし、江戸末期の人気講談「天保水滸伝」を縦糸として、見事なまでに織り込んだ井上ひさしの傑作戯曲が、2025年1月、博多座に初登場します。

主演は、2020年同公演で「きじるしの王次」役を演じた浦井健治が務め、同じく2020年公演に出演した唯月ふうか、土井ケイト、阿部裕、玉置孝匡、章平、そして、梅沢昌代と木場勝己が続投いたします。

また今回新たな配役として、大貫勇輔と猪野広樹、綾鳳華に加え、瀬奈じゅん、中村梅雀の出演が決定しました。

演出は、2020年同公演で第28回読売演劇大賞最優秀演出家賞、第42回松尾芸能賞優秀賞を受賞した演劇界のトップランナーである藤田俊太郎が、音楽は、同じく第28回読売演劇大賞優秀スタッフ賞を受賞し、あらゆるジャンルで日本の音楽シーンをけん引する宮川彬良が、再びタッグを組んでお贈りします。

劇場が熱くたぎるカオスで包まれる絢爛豪華な祝祭音楽劇、豪華新キャストを迎えた『天保十二年のシェイクスピア』に、どうぞご期待ください。

## あらすじ

江戸の末期、天保年間。下総国清滝村の旅籠を取り仕切る鯉の十兵衛は、老境に入った自分の跡継ぎを決めるにあたり、三人の娘に対して父への孝養を一人ずつ問う。腹黒い長女・お文と次女・お里は美辞麗句を並べ立てて父親に取り入ろうとするが、父を真心から愛する三女・お光だけは、おべっかの言葉が出てこない。十兵衛の怒りにふれたお光は家を追い出されてしまう。

月日は流れ、天保十二年。跡を継いだお文とお里が欲のままに骨肉の争いを繰り広げている中、醜い顔と身体、歪んだ心を持つ佐渡の三世次が現れる。謎の老婆のお告げに焚き付けられた三世次は、言葉巧みに人を操り、清滝村を手に入れる野望を抱くようになる。そこにお文の息子・きじるしの王次が父の死を知り、無念を晴らすために村に帰ってくる。

主役はみなさまの想像力。この争いの行く末はいかに・・・

## 公演日程

1月11日(土) 17:00

1月12日(日) 12:00

1月12日(日) 17:00

1月13日(月) 12:00

## 料金(税込)

A席 16,000 円

B席 11,000 円

C席 6,000 円

11月16日(土)午前10時よりインターネット発売開始 博多座 検索

11月17日(日)午前10時より博多座電話予約センター・博多座チケット売場でも販売いたします  
博多座電話予約センター TEL092 - 263 - 5555 (10:00~17:00)

※予約センター・チケット売場での販売は翌日より残席がある場合のみ取扱いたします。別枠席はご準備しておりませんのでご了承ください

10名様以上のグループ観劇のご相談は TEL092 - 263 - 5880 (10:00~17:00)  
博多座セールスグループまで ☎:dantai-sales@hakataza.co.jp

